

経営比較分析表（令和4年度決算）

栃木県 矢板市

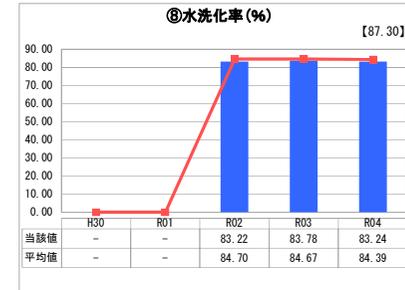
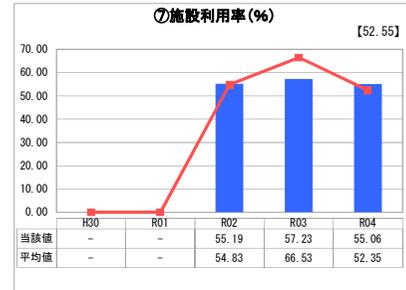
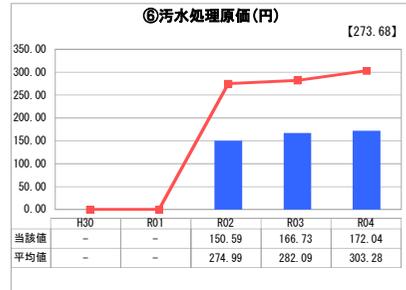
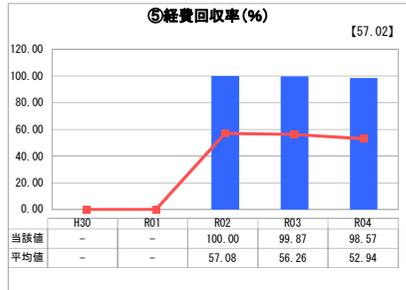
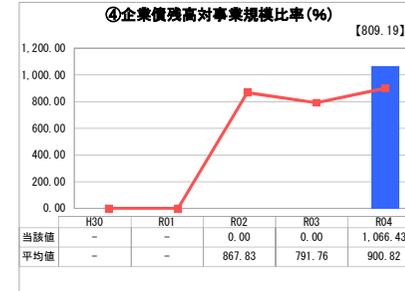
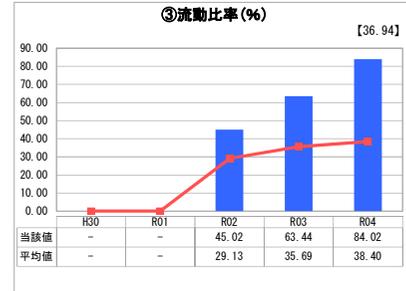
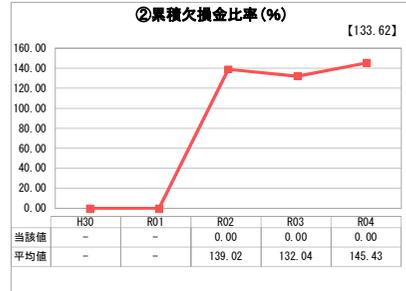
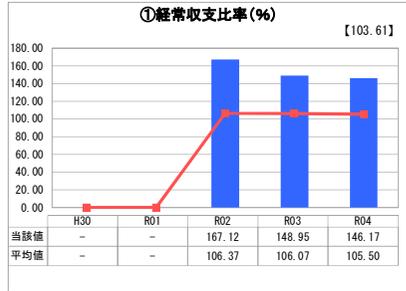
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	76.10	2.85	66.65	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
30,946	170.46	181.54
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
877	0.68	1,289.71

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、前年度よりは低下したものの類似団体平均値と比較すると高い状態を維持している。しかし、収益の内容は一般会計から多額の財源補てんの繰入金を受けている状況であり、健全な経営のため、経費削減、財源の確保を図っていく必要がある。

③流動比率は、算式に用いられる流動負債のうち、殆どが企業債であるため、企業債の縮減に努める。

④企業債残高対事業規模比率が類似団体平均より高いが、施設更新のために一時的に借り入れたためであり、今後は減少すると予想される。

⑥汚水処理原価は、効率的に汚水処理施設の運転ができていたため、全国平均及び類似団体平均値と比較すると低いものとなっている。

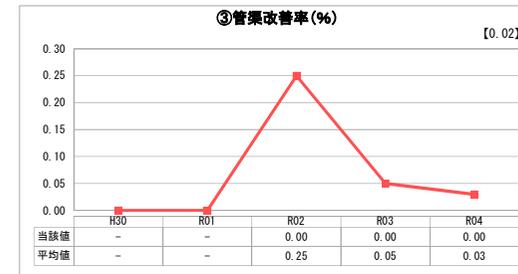
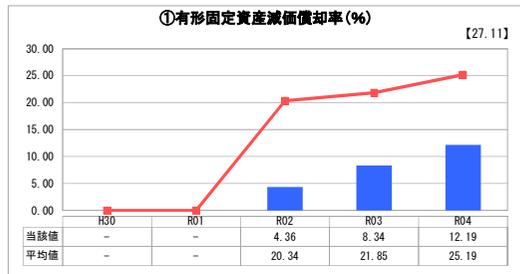
⑦施設利用率は、類似団体平均値を上回っている。今後も、最大処理量を考慮し、施設利用率の向上を図る。

⑧水洗化率は、類似団体平均と同程度であるが、老朽化による維持管理費の増加に備え、使用料収入を確保するため、普及啓発活動を推進する必要がある。

2. 老朽化の状況について

比較的新しい施設であるため、管渠の更新はまだ必要ではないが、水処理センターの不具合が増えてきているため、施設調査等を実施し、更新計画を立て計画的に対応していく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

人口減少や節水機器の普及による使用料減収、施設の老朽化、電気料や資材の高騰による費用負担の増加が今後の健全な経営のための課題と考える。経営戦略の見直し等を行い、更なる経費の削減、接統者数の増加を推進し財源の確保に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。